

## 【1】第24期（平成25年4月～平成26年3月度）事業報告

### 1. 概要

当財団は、ヘルスリサーチを行うものに対する研究助成、研究成果の発表の場であるヘルスリサーチフォーラムの開催、ヘルスリサーチ研究者育成を目的とするヘルスリサーチワークショップの開催ならびに財団機関誌の作成を主な財団事業として行っている。

第24期（平成25年度）の事業計画・収支予算は、平成25年3月5日開催の第8回理事会において承認を得て、下記の通り実施した。本年度実施した主な事業内容は、次の通りである。

- 1）第22回研究助成事業
- 2）第20回ヘルスリサーチフォーラムの開催
- 3）第10回ヘルスリサーチワークショップの開催及び第9回の記録冊子作成
- 4）財団機関誌「ヘルスリサーチニュース」の発行（2回/年）

平成25年度の事業活動実施に伴う収支決算の概要は以下のとおりであった。

平成25年度の事業活動収入計は11,419万円であった。内訳は、基本財産からの運用収益6,673万円、出捐企業からの寄附金4,500万円、企業・個人からの寄附金101万円、などであった。とりわけ基本財産からの運用収益については予算策定時には4,300万円が想定される状況であったが、4月以降も堅調な円安相場の推移（対米ドル、ユーロ）とりわけ為替レート変動の影響を受ける仕組債の運用益が大幅に改善されたことがあった。反面、その債券が早期償還になり買い替え等もあったが、最終的には、当初予測を上回る収益を得ることとなった。

「事業活動に係る費用」に関しては支出実績ベースで研究助成事業費4,770万円、ヘルスリサーチフォーラム費1,088万円、ヘルスリサーチワークショップ費655万円、財団機関誌費475万円等であった。想定収入予算をベースに、コスト効率を十分に勘案した支出管理に努めた。

「事業費支出計（総事業費）」は、総額7,316万円であり、対予算91.4%、管理費は、総額289万円で対予算41.7%となった。

第24期の事業費と管理費の合計である「事業活動支出計（総費用）」は、7,605万円であり、対予算では87.5%となった。

指定正味財産金額は、前年同額の 22 億 7,822 万円で、一般正味財産期末残高については 3 億 4,450 万円となり、正味財産期末残高の総額は 26 億 2,272 万円となった。

期末基本財産は有価証券で 22 億 9,385 万円、定期預金で 1 億 2,610 万円の合計 24 億 1,995 万円となった。

## 2. 活動内容

### 1) 第 22 回研究助成

平成 25 年 4 月	助成案件の募集案内、ヘルスリサーチの研究例示、等を全国大学医学部、経済学部、法学部、研究機関等、約 4,300 個所に配布、また「ヘルスリサーチニュース」及び財団 Web でも告知
平成 25 年 4 月	UMIN 及び一部学会の Web 等に公募案内広告を掲載するとともに財団ホームページにリンク
平成 25 年 4 月～6 月	医療経済研究機構レターに無料で公募案内広告を毎月掲載
平成 25 年 4 月～6 月	公募期間

<応募状況並びに採択結果>	（ ） 昨年度		金額：千円	
	応募件数	採択件数	助成	金額
国際共同研究	45 (55)	8 (8)	24,000	(22,960)
国内共同研究（年齢制限なし）	74 (89)	11 (13)	10,360	(12,290)
国内共同研究（満 39 歳以下）	56 (82)	10 (10)	10,000	( 10,000)
合 計	175 (226)	29 (31)	44,360	(45,250)

応募件数は総合計 175 件で昨年より 51 件減少したものの、未だ高い競争率となっている。本年度は昨年度と同様に、国際共同研究の研究助成金額は 1 件当たり 300 万円以内、国内共同研究（年齢制限なし）と国内共同研究（満 39 歳以下）の 1 件当たりの研究助成金額は 100 万円以内とした。本年度の採択件数は昨年度の 31 件から 29 件と微減であった。

### <選考作業>

－7 月 9 日	選考委員長による予備選考
－7 月 12 日～8 月 11 日	選考委員 選考作業
－8 月 12 日	選考委員 選考結果回付期限

- － 8月19日 第62回選考委員会―書類選考による助成の決定
- － 9月30日 応募者本人及び推薦者に審査結果を書面にて通知
- －11月30日 研究助成金贈呈式を実施
- －12月2日以降 助成金振込み開始

## 2) 第20回ヘルスリサーチフォーラムの開催

例年同様、当財団の旧主務官庁であった厚生労働省のご後援を得ると共に、一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構のご協賛を得て、下記の研究成果発表を行なった。一般演題は6題の応募の中から選考委員会で4題が採択・発表された。本年度は、ポスターセッション―14題(2会場)とホールセッション18題(1会場)で実施し、活発な討議がなされ好評であった。

また、今回は第20回という節目の開催となることから、研究助成選考委員長である自治医科大学学長の永井良三氏による特別記念講演「ヘルスリサーチの考え方」を実施した。

- 日 時： 平成25年11月30日(土) 午前9時30分～午後6時30分  
 会 場： 千代田放送会館(東京都千代田区紀尾井町)  
 テーマ： ヘルスリサーチ20年―良い社会に向けて  
 参加者： 研究助成受賞者、一般研究者、報道関係者、行政、財団役員等  
 内 容：
1. 平成23年度研究助成成果発表 28題
  2. 一般公募演題 4題
  3. 特別記念講演「ヘルスリサーチの考え方」  
 ファイザーヘルスリサーチ振興財団選考委員長  
 永井 良三 氏
  4. 第22回(平成25年度)助成案件選考経過・結果発表  
 ファイザーヘルスリサーチ振興財団選考委員長  
 永井 良三 氏
  5. 第22回(平成25年度)研究助成金贈呈式  
 ファイザーヘルスリサーチ振興財団理事長  
 島谷 克義
  6. ご来賓挨拶  
 厚生労働省大臣官房技術総括審議官 三浦 公嗣 氏  
 厚生労働省大臣官房厚生科学課長 宮寄 雅則 氏  
 協賛法人 一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会  
 玉川 淳 氏  
 ファイザー株式会社代表取締役社長 梅田 一郎 氏

なお、フォーラム講演録(1,000部)については、平成26年7月に配布する。

また、20周年記念誌(10,000部)を平成26年7月に刊行する予定である。

- 3) 第10回ヘルスリサーチワークショップの開催  
第10回ヘルスリサーチワークショップの幹事・世話人を下記各位に委嘱し、開催の具体的計画・遂行がなされた。

ヘルスリサーチワークショップ幹事・世話人会メンバー

(平成26年1月27日現在)

<u>役職</u>	<u>氏名</u>	<u>所属</u>
代表幹事	猪飼 宏	京都大学大学院医学研究科医療経済学分野 助教
幹事	石田 直子	インディペンデント・エディター
幹事	岡崎 研太郎	名古屋大学大学院医学系研究科 地域総合ヘルスケアシステム開発寄附講座 講師
幹事	藤本 晴枝	NPO法人 地域医療を育てる会 理事長
世話人	山崎 祥光	井上法律事務所 弁護士
世話人	佐野 喜子	神奈川県立保健福祉大学 准教授
世話人	朴 相俊	公益財団法人身体教育医学研究所研究主任
世話人	渡邊 奈穂	東京慈恵会医科大学 医学部看護学科 基礎看護学 助教
世話人	豊沢 泰人	ファイザー株式会社 執行役員本部長

以上幹事・世話人9名 (敬称略)

第10回ヘルスリサーチワークショップ

開催日：平成26年1月28日(土)～29日(日)

開催場所：ファイザー(株)研修施設 アポロラーニングセンター(東京都大田区)

テーマ：縮む時代の先に幸福な社会を拓く ―ヘルスリサーチの巻き込みカー

参加費：無料

参加者：幹事・世話人と当財団役員の推薦及び公募による参加者、幹事・世話人、サポーター並びに当財団役員等58名が参加した。

参加者は、5つのグループに別れ途中メンバーを入れ替えながら活発な討議を繰り広げた。

プログラム：

2名の演者による基調講演の後、本年の基本テーマ「縮む時代の先に幸福な社会を拓く ―ヘルスリサーチの巻き込みカー」に沿って2日間に亘り活発な討議が行なわれ、各チームによるグループ発表と全体討議がなされた。また、今回は初の試みとして、参加者間の課題共有をより深くするために、10名の発表者による「ほろ酔いポスターセッション」を情報交換会中に実施、高い評価

を受けた。2日間に亘るプログラムの内容は、以下の通りである。

第1日目(平成26年1月28日 土曜日)

11:00	開場/受付
11:30	集合
11:30~12:10	昼食
12:10~12:50	オリエンテーション 歓迎の挨拶/ワークショップの進め方 他
12:50~16:00	基調講演1:湯浅 誠氏(社会活動家) [縮む日本が伸びるために -社会的包摂と課題-]  基調講演2:阿部 一彦氏(東北福祉大学総合福祉学部教授) [障がい当事者からの発信がよびおこす巻き込み力]
16:00~16:20	コーヒブレイク/写真撮影
16:20~18:30	分科会(一部ワールド・カフェ方式を採用)
19:00~21:00	情報交換会/ほろ酔いポスターセッション

第2日目(平成26年1月29日 日曜日)

7:30~8:30	朝食
8:30~11:30	分科会(チーム別)
11:30~12:30	昼食
12:30~14:55	チーム別発表/総合討議
14:55~15:00	閉会の挨拶
15:00~15:30	カフェタイム(自由参加)

4) 財団機関誌「ヘルスリサーチニュース」刊行

4月、10月の年2回発行し(1回あたり14,000部)、全国大学医学部、薬学部、看護学部、経済学部や学会、研究機関、報道機関、厚生労働省、助成案件採択者、財団役員等に配布した。

5) 寄附金募集活動

出捐企業であるファイザー株式会社の社員を対象に財団の広報活動を行った。本年度は、ファイザー株式会社からの一般寄附金4,500万円を含む、個人及び団体から13件、4,601万円の一般寄附金が集まった。

### 3. 管理業務

- 1) 平成 25 年 5 月 15 日に生命科学助成財団懇談会（関東版）が東京都千代田区の東京海上日動ビルにて開催され、事務局長が出席した。
- 2) 平成 25 年 7 月 4 日に第 54 回生命科学助成財団懇談会が静岡県のリゾーピア熱海にて開催され、事務局長が出席した。
- 3) 平成 25 年 11 月 13 日に生命科学助成財団懇談会（関東版）が中央区京橋の雪園にて開催され、事務局長が出席した。
- 4) 平成 26 年 2 月 13 日に第 55 回生命科学助成財団懇談会が東京都千代田区の如水会館にて開催され、今回は加藤記念バイオサイエンス振興財団と共に幹事を務めた。事務局全員で対応した。